

福島ロータリークラブ会報



持続可能なインパクトを生み出そう

■ <http://www.f-rotary.com/>



[ホームページ]



[Facebook]

2026年

8月27日(木)

vol. 07

■例会場／福島市野田町1丁目10-41 エルティ ■例会日／木曜日12:30
■事務所／福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ■TEL.024-536-1010 FAX.024-536-1011
■mai / f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

本日のプログラム

- 新会員スピーチ 株式会社 代表取締役社長 野地大輔 会員
- 会員スピーチ Karen 代表 村上守人 会員

会長あいさつ



2026-27 年度会長 横山 淳

こんにちは、本日は野地会員の新会員スピーチ、そして村上会員にはお花の業界のお話をお願いしています。皆さんも初めてではないかと思います。お楽しみに！

さて、先日私が初めてロータリークラブの例会に出た時、60年以上前に行った日曜学校の空気感に似ている、と感じたという話をしましたが、今日はキリスト教とロータリークラブについてお話ししたいと思います。まず初めに、ロータリークラブはどの宗教にも偏見を持たず、多様性を持つ集まりなことは周知の事実です。しかし日曜学校とクラブ例会は、1. 定期的な集まり、2. 学びの要素、3. 倫理・人格形成、4. 奉仕の精神、等で共通するものがあると思います。

また、日曜礼拝も毎週日曜日に行われ、信者が集まり祈りや賛美歌を通じて神との交流を深めます。ロータリーの例会も定期的に開催され、メンバーが集まって交流し、情報を共有します。そして両者とも儀式とプログラムに沿っています。賛美歌の歌唱、聖書の朗読、説教、祈り、ロータリー例会は、ロータリーソングの歌唱、4つのテスト、会長の挨拶やゲストスピーカーの卓和、クラブ委員会の報告など定められたプログラムに沿っている。皆で食事をすることも献金があるのも共通です。そして私はロータリー設立にはキリスト教それもプロテスタントの影響があるのではと思いました。

まず歴史的背景です。ロータリークラブは1905年にアメリカのシカゴで弁護士のポール・P・ハリスによって設立されました。当時のアメリカ社会はプロテスタントが多数を占めており、特に北部や中西部の都市ではその影響が顕著でした。シカゴもその一つです。ポール・ハリスや初期のメンバーも、多くがプロテスタントであり、その価値観がロータリークラブの基礎に組み込まれたとしても不思議ではありません。

次は両者の価値観です、プロテスタントの労働倫理では、仕事は神から与えられた天職、使命でありそれを通じて社会に貢献することを重視します。ロータリークラブのメンバーが多様な仕事に従事し、その職務を通じて社会貢献を行うという考え方、職業奉仕にも反映されています。そんなこともあり発足時は1業種1人、という制度があったのではないのでしょうか。また職業奉仕をbusiness、occupation、profession、とせずにVocationalとしたことも。Vocationは天職、天から与えられた職という意味ですから。

また、日本におけるロータリークラブの設立者である米山梅吉氏もプロテスタントの信仰を持っていました。米山梅吉氏は私財を投じて青山学院の初等部を設立し初代校長を務めています。現在初等部には米山記念礼拝堂というものもあります。青山学院は日本でのプロテスタントの教育機関として知られていますが、このように、両者には多くの共通点がありますが、ロータリークラブは特定の宗教にとらわれず、あらゆる宗教や文化の違いを超えて広く、多様な信仰やバックグラウンドを持つメンバーが活動していることを改めて認識して本日7回目の会長挨拶といたします。

例会次第

- ロータリー・ソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菅野 晋 会員
- お客様並びに来訪ロータリアン紹介
相良元章 SAA



菅野 晋 会員

新会員
株式会社ニューメディア 米沢・福島営業所所長
兼 業務統括本部副本部長 金子真也 様

- ご入会式
金子真也様(株式会社ニューメディア米沢・福島営業所所長 兼 業務統括本部副本部長)
紹介者 箱岩 偉 会員
メンター委嘱状交付 箱岩 偉 会員



金子真也 様

- グローバル補助金事業 バナー伝達
RI第2530地区 社会・国際奉仕委員会
後藤忠久委員長より横山淳会長へ
2026-27年度グローバル補助金事業
「UNITE 4 GOOD MENTALHEALTH」
プロジェクト
ホスト:RI第3450地区イフ・ウルグーRCより
バナー交換



加藤義朋 会員

- 米山記念奨学会委員会 伝達
第44回米山功労クラブ 福島ロータリークラブ
第60回米山功労者 加藤義朋 会員

- 各委員会報告
例会小委員会 ニコニコBOX担当
村山由美子 委員



村山由美子 委員

幹事報告

- 8/30(日) 地区青少年奉仕セミナーが開催されます。当クラブより岡田新也青少年奉仕小委員長が出席いたします。
- 9/3(木) の例会は通常通りエルティにて開催いたします。
- 9/27(日) 開催「第6回スポGOMI大会 in ふくしま」につきまして、運営協力をお願いを会員の皆様へお送りしております。ご出欠の未回答の方が多くいらっしゃいますので、早めのご返信をお願いいたします。併せて、賞品協賛、古本のご提供につきまして皆様のご協力を賜れますと幸いです。何卒よろしくお願いいたします。
- 11/1(日) 開催「国際ロータリー第2530地区 地区大会」につきまして、出欠登録がお済みでない方は締切を過ぎておりますので、至急ご返信くださいますようお願いいたします。
- 8月ロータリーレートは1ドル162円となりますのでお知らせいたします。



藤井 守 幹事

本日のプログラム

新会員スピーチ



株晃建設 代表取締役社長
野地大輔 会員

みなさま、こんにちは。

株式会社晃建設の野地大輔と申します。7月に古俣猛様のご紹介で、歴史と伝統のある福島ロータリークラブに入会させていただきました。各青年部に所属し、それなりに活動してきたつもりではありますが、福島ロータリークラブの名前に気圧されそうで毎回緊張しております。少しの間ですがお話しさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

ご覧いただいたのは昨年末から今年初めにYouTubeで流したCMです。私の職業分類は建設業です。建設業の中でも道路などをつくる『土木』と建物などをつくる『建築』に大きく分かれていますが、弊社は『建築』を主体として事業活動を行っております。昭和45年の2月に創業しまして1期目は1か月ほどの短い期間ではありますが、今年度で創業58年目を迎えております。

創業に至る経緯としては当時、準大手ゼネコンの間組（現安藤・間）直轄の施工部門として専門工事を行っていた『斎藤班』が分社化し、斎藤貞夫氏自宅にて創業したそうです。当時は旧間組を主体に、各社の土木、建築の専門工事を下請け企業として事業活動を行っておりました。その後、事業種目を建築土木請負に変更し元請企業として公共工事、民間工事問わず、住宅建設から事務所、各種施設、商業施設などの建設工事を受注しており、地域に根差した地場のゼネコンとして事業変革し、現在は成蹊中学校近くの阿武隈川沿いに本社、伊達市保原町市民センター北側に伊達営業所、宮城県仙台市、五橋駅近くに仙台事務所をかまえ事業活動を行っております。

先ほど流した動画でも『あきらと呼んで〜』とあるように弊社の社名がときどき間違っ読まれるときもありますが、初めてお会いする方にはインパクトが強く、苗字も県外ですと割とレアキャラなので憶えていただけるので助かっていますが、なぜ晃（あきら）を晃（ひかり）と読むようになったかと申しますと、あくまでも当社伝説（都市）ですが、当時の商号登記が日光建設と書き『ひかりけんせつ』と読ませたかったようですが、当時は手書きで縦書きだったらしく『日』と『光』があまりにも近く書いてしまったため『晃』（あきらとかいて ひかりとよむ）になったのではないかとと言われておりますが真相は闇の中です。

ここからは自己紹介についてですが、私は、昭和51年

7月29日に福島医大で長男として生まれました。出生時の体重が4,000gあったそうで新聞にも載ったそうです。家族構成は妻、長女、長男、次女の5人家族です。長女、長男は就職後結婚し、次女は4月から横浜で就職しております。自宅には妻と二人でお互い好きなことをして過ごしております。

私の生まれは旧安達郡安達町下川崎（現在二本松市）というところで、小学校は安達町立下川崎小学校、中学校は同じく安達町立安達中学校で、小学校は当時から児童数は少なく私の年代では18名、私の1歳下の弟の年代でも12名で全校生徒合わせても100名に満たない小学校でした。児童数が少ないからか高学年、低学年でも関わり合いは多く、みな兄弟のように接していたような気がします。田舎なので放課後、日曜日には各自、自宅にある親のゴルフクラブとボールを持ち寄り、学校の校庭や畑でゴルフのまねごとしたり、夜に蚊に刺されながら小学校のプールに入ったりして遊んでおりました。そんな小学校ですが、ずいぶん前に廃校となり、一時は浪江小学校の臨時校舎として嵐も訪問したりして活躍していましたが、2年ほど前に校舎も解体されてしまったので母校がなくなるのは本当に寂しいことだと感じました。

中学校は自宅から自転車で6キロを通学していたかと思うと今では信じられません。生徒数も600名ほどになり小学校から比べると6倍ほどで、みんな同じ格好で不気味だと思いました。部活は野球部に入っておりましたが、ある先生に無理やり進められ相撲部にも在籍しておりましたが、野球部は当時、花形的な存在だったので積極的でしたが、相撲部は思春期の中学生にとってお尻を出してまわしを付けるのが恥ずかしいし、痛いのでサボっていましたが先生にある技をかけられてしびしび稽古しておりました。

高校は福島県立福島工業高校の建築科でこの頃に福島市へ引っ越ししてきました。高校でも野球を続けまして、成績はいまいちでしたが趣味のゴルフの一助にはなっているのかなと思っております。高校からロックに興味を持ち始め、ベースを始めることになりました。バンドは組んでいませんでしたが、よくダイヤモンド会館には通っておりました。

高校卒業後はいろいろフラフラとしておりましたが福島に帰ってきまして、そのまま、今の晃建設に入社し現在に至ります。

入社後は工事部に配属され各工事現場の施工管理（現場監督）の業務を行っておりました。入社後数年は自社の工事現場に配属されておりましたが、以降は当時の間組の工事現場に出向し、県内だけではなく東北管内、また、

東京まで各地を回らせていただきました。

また、入社後すぐに結婚、第1子を授かりまして、両親を40代で『じいじ』と『ばあば』にさせてしまったのですが、私たちも48歳で『じいじ』と『ばあば』となりまして、現在は孫も3人となりました。これからは孫たちが来なくなる家を目指し策略中です。

続きまして私の趣味の話ですが、先にお話した通りゴルフとバンド活動です。

ゴルフはさぞかし上手なのだろうとよく言われますが、実際それほどでもなくて少々迷惑を被っております。また、親子間では90点以上だと『また90か?』とか『また二日酔いか?』などとゴルフハラスメントを多々受けておりまして、親ではありますが一矢報いるべく精進しております。ゴルフは同じ動きをしているつもりがうまくいく時といかない時があり、ストレス発散するつもりが蓄積することも多くありますが、そこがまた、はまっていく部分かと思っております。

もう一つはバンド活動でして、私はベースを担当しております。結婚して子育て中はベースを弾けておりませんでしたが、ロックはずっと好きで特にパンクロック、メロコアの速い、うるさい、短い曲が好きで聴いておりまして、子供たちにも小さい時から車内では流していたため妻以外Hi-STANDARDというバンドが好きで、共通の話題になることもしばしばです。

そして、コロナ禍中、どこにも行けなくて物置の片付けをしているときに、ベースがあることを思い出し暇つぶしにと思い再開しました。バンドを組んだきっかけは福

島商工会議所青年部在籍時に共通の趣味を持つ会員が集まり、自分たちが大好きなことをただただ熱く語らう事業があり、それをきっかけで集まったメンバーで組んだバンドです。

コピーバンドでメンバーがやりたい曲をジャンル問わずに演奏しておりまして、商工会議所青年部、直前会長慰労会も私のわがままでライブハウスでライブをさせてもらい、その後も定期的とまでは言えませんが市内のライブハウスで数バンド集まりライブを行っております。

メンバーはドラムが最近、素人農業をはじめた先輩後輩思いの建設業を営んでいる方で『コリアンダー』、ギターが司法書士を営み、朝ドラ『エール』招致活動の中心の方で『サフランライス』、ボーカルが印刷会社を営む夫婦でわらじ音頭も歌っていた『生にんにく』と『カルダモン』、私が『ターメリック』というスパイスにちなんだバンドネームで活動しておりまして、直近ですと4月に市内ライブハウスで行ったのがこちらです。

続いて商工会議所青年部で交流していた米沢商工会議所青年部の方からオファーがあり7月に米沢小野川温泉ほたる祭りの演者としてライブをしてきました。

バンド活動は遠慮なく爆音を出せることと、メンバーみんなで難しい曲でも1曲仕上げることの一体感がバンド活動していることの最大の魅力です。

最後になりましたが、ロータリー活動を通じ交流、連携そして自分も成長しながら社会貢献することを目指し活動してまいりますので、なにとぞ指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

会員スピーチ 「花は、人と人をつなぐ」 花と、人とのご縁



Karen 代表
村上守人 会員

皆さん、こんにちは!

今回、横山会長からご指名をいただき、会員スピーチをさせていただきます、村上です。よろしくお願いいたします。今日は、「花は人と人をつなぐ」ということで、普段なかなか知っていただく機会のない花屋の仕事や、最近の花屋事情について、少しお話させていただきます。

その前にですね!私、今回初めてパワポをダウンロードしまして、昨日 Chat GPT とケンカしながら作りました。温かい目で見ていただけたら幸いです。

まず、簡単に自己紹介をさせていただきます。

私は平成31年3月に、この歴史と伝統ある福島クラブに入会いたしました。気づけば、もう8年目になります。

こうして皆さんの前でまとめたお話をするのも、新入会員スピーチ以来でございます。

私は昭和48年10月、伊達市、当時の伊達町に生まれました。実家が花屋で、私はその二代目として現在この仕事をしています。ちなみに私は、明治病院さんでこの世に生を受けました。現在、幡先生と同じクラブに在籍させていただいていることにも、ありがたみとご縁を感じております。さらに息子も明治病院さんで生まれましたので、親子二代でお世話になっております。

地元の小中学校から、高校は郡山の日本大学東北高校へ進みまして、高校時代は器械体操部に所属していまし



花屋さんのお仕事



人生のさまざまな場面に、花があります。

た。荻野誠也会員とは高校の同級生です。高校2年の時には県総体で種目別の跳馬で着地がピタって止まって優勝しました。高校3年では団体のメンバーに入り、県で優勝し、インターハイへの出場資格を得たのですが、その前の東北大会で右手を骨折してしまい、インターハイはサポートメンバーとして参加いたしました。当時はムーンサルト、2回宙返り1回ひねりの技などもやっていました。昔は腹筋もシックスパックだったのですが……今では、はい〜って感じです(笑)。当時は鉄棒で車輪をグルグル回ったり、宙返りしたりしていました。

現在の趣味はサーフィンです。今でも体を動かすことが好きで、時間があると南相馬の海に行っています。

では、ここから花屋の仕事についてお話しします。

皆さんが花屋と聞いて一番イメージしやすいのは、やはり花束やアレンジメントだと思います。誕生日、結婚記念日、送別用、プロポーズなど、さまざまなお祝いの場面で花を使っていただきます。そのほかにも、胡蝶蘭、開店祝いや周年祝いのスタンド花、観葉植物、ドライフラワーなど、実はかなり幅広い商品を扱っています。上の写真は先日、復活優勝された若隆景関への優勝お祝いスタンド花を若葉山さんへ納品した写真です。また、下の写真は提携葬儀社へ納品しました祭壇生花です。お祝いの華やかな場所や人生の最後のお別れの場所などこうして考えてみると花屋というのは、人の人生の節目に関わることが非常に多い仕事なんだと、この仕事をしていて感じています。

さて、ここから少し、最近の花屋事情についてお話しします。最近、花屋にとってもなかなか厳しい時代になっています。まず大きいのが、さまざまなコストの上昇です。生産者さんでいえば、ハウスの燃料費や光熱費。それから資材費、輸送費など、いろいろなものが値上がりして

います。さらに、生産者さんの高齢化や後継者不足も深刻です。そして、これは花屋側も同じです。資材やラッピングペーパーなどの高騰、後継者不足や経営環境の厳しさから、廃業する花屋さんも増えています。

その一方で増えているのが、海外から輸入される切り花です。菊、バラ、カーネーション、ラン類など、皆さんが普段よく目にする花にも、実は輸入品がたくさんあります。菊は最近、主に中国からの輸入が多く他にもベトナム、マレーシアなどから輸入されています。バラはコロンビアやケニア、南アフリカなどから。カーネーションもコロンビアからの輸入が多く、国産にも引けを取らない品質でございます。ラン類はタイやシンガポール、マレーシアなど暖かい国から輸入されています。飛行機だけではなく、品目や輸送方法によっては船で運ばれてくるものもあります。国内生産が縮小している中で、こうした輸入花が日本の花の安定供給を支える存在にもなっています。

そして、ここからは少し地元・福島の話をしてと思います。

福島市は、全国的に見ても切り花への支出が非常に多い地域です。これは2024年の統計ですが、福島市は切り花の支出額が全国1位でございまして、全国平均の約2.1

実は福島市、花を買う街。

切り花 年間支出額 (2人以上世帯・2024年)

15,786円

全国 1位

全国平均 7,684円

約2.1倍

**福島市は長年、
全国トップクラス。**

出典: 総務省「家計調査」/福島県統計資料

倍ほどとなっています。もちろん花が好きの方が沢山いらっしゃる事は素敵な事だと思いますが、そのほかにも要因があるのではないかと考えています。これは何かの資料を見たのではなく長年花屋をやっていて体感している部分でございます。その理由の一つが、私はご先祖様を大切に作る文化だと思っています。お盆やお彼岸はもちろんですが、命日、月命日に仏壇へ花を飾って、お墓参りに行く。

特に伊達のお店でも小さな商店街なのですが毎月決まった日に仏花を買いに来てくださるお客様がたくさんいらっしゃいます。福島には、ご先祖様を大切に、花を供える文化が今もしっかり残っている。これは、とてもいいことなんじゃないかなと思っています。

ここで話題を変えまして「花屋あるある」を少しお話ししたいと思います。

花屋をやっていると、お客様からいろいろなご注文をいただきます。まず、よくあるのが、「2,000円で豪華にしてください!」……これ、結構あります(笑)。こちらとしては、「2,000円の中で最大限、豪華にします!」ということになります(笑)。それから、「この花の花言葉は何ですか?」これもよく聞かれます。正直、私は全然分かりません(笑)。切花だけで数千数万種類あってその中の赤バラだけでも数十種類品種があります。その名前覚えるだけで精一杯でございます(笑)。

次に「シックな感じでお願いします」こういう絶妙なご注文もあります。いつもシック?シック?シック?と呪文のように唱えながら作っています。「ビタミンカラーでお願いいたします」ビタミンカラー?ビタミンカラー?でも結果、素敵なのが出来て自分で満足しています。花屋は花を売っている仕事ですが、実際には、お客様の頭の中に

あるイメージを形にする仕事でもあるのかなと思っています。そして私の場合、自分で作った花がどうしても気に入らないと、「もう1本……」「やっぱり、もう1本……」と、サービスで花を足してしまう。そうすると最後は、原価計算がおかしくなります(笑)。でも、それでもいいものを渡したいと思ってしまいます。結局、なんだかんだ言っても、花が好きなんだと思います。

花屋を長くやっていると、もちろん楽しいことばかりではありません。原価は上がりますし、人手も足りません。お金にならない仕事も、結構あります(笑)。夏は暑くて花も持たないし、冬は寒くて手はあかぎれだらけです。お客様から、なかなか難しいご注文をいただくこともあります。それでも、完成した花をお渡しした時に、「ありがとう」「きれいですね」「お願いしてよかった」そう言って笑顔になっていただける。やっぱり、そのお客様の笑顔が、この仕事の一番のやりがいなんだと思います。そして、それが私が今まで花屋を続けてきた理由なのかなと思っています。花そのものは、食べられるわけでもありません。なくても生活できると言えば、生活できるものです。でも、お祝いの時。大切な人とのお別れの時。誰かに感謝を伝えたい時。言葉だけでは伝えきれない気持ちを、花が代わりに伝えてくれることがあります。今日のテーマを、「花は人と人をつなぐ」とさせていただきます。

花屋は花を売る仕事ですが、本当は、人と人をつないで、その人の気持ちを届ける仕事だと思っています。これからも地域の皆さんの大切な場面に花を通して関わりながら、一人でも多くのお客様を笑顔にできる花屋でありたいと思っています。

以上で、私の会員スピーチとさせていただきます。
ご清聴ありがとうございました。

それでも、なんだかんだ花が好き。



お祝いの時も、お別れの時も、誰かを想う時も、そこには花があります。

これからも、花を通して人と人のご縁を大切に。

お客様並びに来訪ロータリアン紹介



■(株)ニューメディア
米沢・福島営業所所長
兼 業務統括本部副部長
金子真也 様

グローバル補助金事業 パナー伝達



■ RI第2530地区
社会・国際奉仕委員会
後藤忠久委員長より
横山淳会長へ
2026-27年度
グローバル補助金事業
「UNITE 4 GOOD
MENTALHEALTH」
プロジェクト
ホスト:RI第3450地区
イフ・ウルグーRCより
パナー交換

米山記念奨学会委員会 伝達



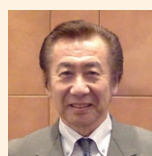
■第44回米山功労クラブ
福島ロータリークラブ
■第60回米山功労者
加藤義朋 会員

ご入会式



■金子真也 様
(株)ニューメディア米沢・福島営業所所長 兼 業務統括本部副部長
紹介者 箱岩 偉 会員
メンター委嘱状交付 箱岩 偉 会員

私のひと言



菅野地所 代表取締役社長
加納武志 会員

先月、新聞に福島県の人口減少のニュースが出ていました。福島県の人口は1998年1月の213万人をピークに2026年7月には169万人と約28年の間に約50万人の減少と予想以上に人口減少が進んでいます。その影響で住宅の「空き家」・民間アパート等賃貸住宅の「空き部屋」等が増加しています。
そのような中でも「移住定住」や「2地域居住」に目を向けると福島県は移住先の人気がある県の上位に位置しているという明るいニュースもあります。
今、人口流失をくい留める、もしくは流失速度を減少させるなど、さらなる福島県の魅力作りと若年層の雇用創出を県民一人一人が真剣に考える時だと思います。

ニコニコBOX報告 本日の投入額 44件 ■報告 村山由美子 委員

[メッセージ会員]

■井田 裕子 会員

井田裕子54才、絶賛更年期！

■氏家 有紀 会員

今週、夏休みを満喫しております。山形から北海道、福島八幡屋まで楽しむ予定です。「最高の現実逃避」をテーマに、忙しさや責任感を一旦脇においてリフレッシュしてきたいと思います。

■奥 一正 会員

先日、8/22(土)に長男が米国オクラホマ州の大学へ留学のため、旅立ちました。笑って見送りと思いましたが、さびしさのあまり、涙がこぼれました。息子のこれからの活躍を見守りたいと思います。

■沖田 昭 会員

ユナイテッド、マリノス相手に惜しい！リーグ戦に期待。

■金子 真也 会員

皆様、このたび入会した金子と申します。よろしくお願いいたします。

■相良 元章 会員

最近、近所に熊が出没しています。小林さんの花見山スタンドで餌付けしているのではと疑っています。小林さん危険なのでやめて下さい。

■佐藤 美奈子 会員

野地会員、村上会員のスピーチ楽しみにしています。

■菅沼 裕 会員

8月の例会場を探してさまようジブシー例会も今月で最後で

す。氏家会員がいろいろな場所を視察したので、9月以降のエルティ例会をみなさんで期待しましょう。

■野地 大輔 会員

新会員スピーチさせていただきます。よろしくお願いします。

■箱岩 偉 会員

NCV金子真也さんの入会を歓迎して。皆様よろしくお願いいたします。

■芳見 弘一 会員

草間彌生さんが亡くなりました。現在、県立美術館で作品展が開催中です。

■横山 淳 会長

昨日東京ロータリークラブに5人でMUに行ってきました。5クラブのMUがあり220人参加でした。食事は具だくさんのシーフードカレー、ライスちゃんとサフランライスでした。

■藤井 守 幹事

昨日、東京RCにメーキャップに行ってきた。人の多さ、例会の流れ大変勉強になりました。食事のカレー美味しかったです！

■他に 安藤正明/安部 守/内池 浩/大槻美恵子/大橋真孝/岡田新也/荻野誠也/小原 敏/加納武志/菅野 晋/小林仁一/佐藤永之/佐藤久典/佐藤英典/佐藤 有/佐藤良智/菅原高志/鈴木恭一/鈴木朋恵/丹治正博/福地重信/本田裕一/松原久武/増井裕康/三宅一秀/村上守人/村山由美子/森下謙太郎/八巻恵一/吉田大樹/渡辺健寿